

温かいご支援に感謝します



Sokhem

感謝を込めて、
チャイルドの成長報告をお届けします

Sokhem ちゃんの成長報告です



チャイルドの
動画は [こちら](#)

わたしは15歳です。

わたしは現在、学校に行っていません。*

* 家庭の状況や年齢、自宅が遠隔地にあるといった地理的条件や教師の不足、もしくは個人的な問題により、学校に通うことができていない子どももいます。しかし、子どもたちは地域の活動に参加し、成長しています。ワールド・ビジョンは、すべての子どもが適切な教育を受けることができるよう、継続的に取り組んでいます。

ワールド・ビジョンのスタッフが定期的に訪問し、成長を見守ってくれているので、健康です。

今年 Sokhem ちゃんと家族が参加した活動や受けた支援



読み書きの講習会

読み書き能力向上に必要なサポートを受けています。



価値観についての教育

周りの人に敬意を払いつつ、仲間からの悪い誘いを断り、危険な状況を避ける方法を学びました。



衛生についての啓発

病気にかからないよう、病気のリスクから身を守り、衛生管理をする方法を学びました。



個人用衛生キット

石けんや歯ブラシ、シャンプーなどの必需品が入った衛生キットの支援を受けました。



子どもの権利についての教育

自分の権利について学び、トラブルが起きた時に自分で対処できると感じられるようになりました。



オンラインでチャイルドに手紙や誕生日のメッセージを作成できる「Eレター」をご利用いただけます。

写真を添付することもできます。

ワールド・ビジョン Eレター [検索](#)

「トモ・プオ地域は、 明るい未来に向かって歩んでいます」



チャイルド・スポンサーの皆さま、いつもトモ・プオ地域の子どもたちへの温かいお気持ちとご支援をありがとうございます。皆さまのご支援により、子どもたちはより良い教育を受け、健やかに成長しています。

ヴッ・ナイ
トモ・プオ 地域開発プログラムマネージャー

ご支援によって、チャイルドや地域の人々に

1,489

1～3年生の子どもたち1,489人が識字プログラムに参加し、読み書きの能力が向上しました。

47

地域で47の読書クラブが設置されました。活動のための研修や教材も提供され、子どもたちが読書に親しめるよう、毎週活動を行っています。

カンボジア : 日本

出典：国連開発計画（UNDP）、国連児童基金（ユニセフ）、世界銀行 2022年

5歳未満児死亡数
(出生1,000人あたり)



24.8



2.3

安全な水にアクセス
できる割合



29%



99%

前期中等教育を修了
した25歳以上の女性



16.4%



98.2%

皆さまのご支援によって、人々は空腹を満たし、安全な水を得て、子どもたちに教育を受けさせることができます。ワールド・ビジョンでは、人々が貧困の連鎖から抜け出すための、様々な取り組みを行っています。



「以前私と娘はよく言い合いをしていました。言うことを聞かない娘に、つい厳しく接してしまっていたのです。でもワールド・ビジョンの家族関係を改善するための研修に参加して、娘に対して穏やかな口調で話すことを学び、今では愛情と優しさを持って子育てができるようになりました」
チャットさん、母親（右）

大きな変化がもたらされています

524

524人の保護者・養育者が、体罰や心理的虐待が与える悪影響や、子どもの権利を尊重する子育てについて学びました。子どもたちを虐待から守ることにつながっています。

80

80人の地域ボランティアが、行政との話し合いや交渉に関する研修を受けました。研修の内容を地域住民に伝えることで、住民自身が行政に対し自分たちの権利を主張していくことにつながります。

2010
開始

準備期

地域との関係構築やニーズ調査、計画策定をします

第1期

土台やしくみを作ります

第2期

知識・技術を身につける活動を行います

第3期

評価・見直しをしつつ活動を進めます

2024

支援卒業準備期

支援の終了を意識し、活動が継続できるよう整えていきます

2029
終了予定

支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

「子どもクラブに参加して強くなりました」



16歳のマリスちゃん（正面を向いている女の子）は、以前はとても消極的でした。「自分からほかの人に話しかけようとは絶対にしませんでした。地域の集まりでも、自分の考えを発表することはありませんでした。私の意見なんて誰も興味がないし、聞きたくないだろう、と思いこんでいたんです」

そんなマリスちゃんが変わることができたのは、ワールド・ビジョンが実施する子どもクラブに参加したことがきっかけでした。新しい友達を作り、子どもの保護について学んだほか、子どもへの暴力をなくすための活動も始めたのです。

「自分が住む地域が抱える問題について学んで、暴力が起きていることを知りました」とマリスちゃん。「私は、以前より強くなったと思います。今では、地域の集会で自信を持って発表できるようになりましたし、クラブの仲間たちと啓発活動を行ったり、警察や地域のリーダーたちと一緒に子どもの安全を守ったりする活動もしています」



QRコードから、「マイ ワールド・ビジョン」にご登録いただくと、チャイルドと支援地域の情報がご覧いただけます

パソコンからは、トップページの「支援者の皆さまへ」に進み、「アカウントの作成」ボタンからお手続きいただけます